



M.Takahashi

THE SATSUKI SHO

第85回 皐月賞 (GI)

1着 賞 200,000,000円
本賞 80,000,000円
付加賞 27,944,000円

2着 50,000,000円
馬券 7,984,000円

3着 30,000,000円
馬券 3,992,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牡・牝、3歳、除え不出走馬および未勝利馬

負担重量 馬齢重量

2025.4.20 中山 番・良 芝2000m (国際) (指定)

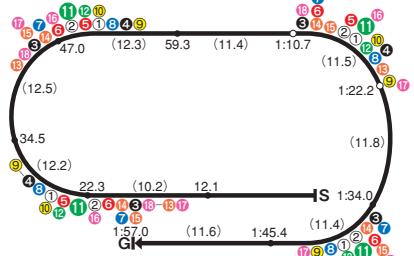
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ		
1	⑪	ミュージアムマイル	牡3	57	J.モレイラ	1:57.0	8-8-8-10	34.1	500(-2)	10.6③	高柳大輔(栗東)	119
2	⑩	クロワデュノール	牡3	57	北村友一	1½	4-4-6-2	34.7	500(+4)	1.5①	斎藤崇史(栗東)	116
3	⑥	マスカレードボール	牡3	57	横山武史	クビ	11-10-14-13	33.9	460(-4)	13.7④	手塚貴久(美浦)	115
4	⑤	ジョバンニ	牡3	57	松山弘平	½	6-6-11-10	34.3	482(+2)	23.4⑦	杉山晴紀(栗東)	114
5	⑯	サトノシャイニング	牡3	57	西村淳也	アタマ	9-10-8-7	34.5	496(+4)	8.6②	杉山晴紀(栗東)	114
6	⑮	マジックサンズ	牡3	57	佐々木大輔	1	16-17-17-13	33.8	516(+6)	201.5⑥	須貝尚介(栗東)	112
7	③	キングスコール	牡3	57	藤岡佑介	1	14-14-17-17	33.9	494(-2)	40.1⑧	矢作芳人(栗東)	110
8	⑯	アロヒアリイ	牡3	57	横山和生	1	17-18-3-2	35.5	492(-2)	56.5⑩	田中博康(美浦)	108
9	⑯	ヴィンセンシオ	牡3	57	C.ルメール	クビ	14-14-13-13	34.7	506(-10)	19.8⑥	森一誠(美浦)	108
10	⑯	カラマティアノス	牡3	57	戸崎圭太	クビ	12-12-14-13	34.6	464(-2)	60.8⑩	奥村 武(美浦)	107
11	②	エリキング	牡3	57	川田将雅	ハナ	9-8-11-10	34.9	500(+2)	18.7⑤	中内田充正(栗東)	107
12	④	ジュタ	牡3	57	坂井瑠星	クビ	2-2-4-2	35.5	500(+2)	110.1⑩	矢作芳人(栗東)	107
13	①	ニシノエージェント	牡3	57	津村明秀	½	4-4-8-7	35.3	470(-2)	91.1⑩	千葉直人(美浦)	106
14	⑧	ジーティーアダマン	牡3	57	岩田望來	クビ	3-3-4-6	35.7	496(+4)	41.3⑩	上村洋行(栗東)	105
15	⑰	ファウストラーゼン	牡3	57	杉原誠人	クビ	18-14-1-1	36.0	456(±0)	39.8⑩	西村真幸(栗東)	105
16	⑦	フクノブルーレイク	牡3	57	松岡正海	2	12-12-14-17	35.1	456(+4)	261.1⑩	竹内正洋(美浦)	101
17	⑮	ドラゴンスクースト	牡3	57	丹内祐次	½	6-6-6-7	36.0	476(+6)	244.6⑦	藤野健太(栗東)	100
18	⑨	ピコチャンフラック	牡3	57	石橋 優	1½	1-1-2-2	36.7	484(-4)	74.7⑩	上原佑紀(美浦)	97

単勝⑪1,060円(3着)、複勝⑪200円(2着)、⑩110円(1着)、⑯280円(5着)、枠連⑤-⑯700円(4着)

馬連⑩-⑪680円(2着)、ワイド⑩-⑪280円(1着)、⑯-⑪1,280円(14着)、⑯-⑩490円(5着)

馬単⑩-⑪2,470円(8着)、3連複⑩-⑪-⑯2,730円(6着)、3連単⑩-⑪-⑯-⑯22,670円(59着)

5重勝⑯⑩⑪⑯⑯348,680円(1,738票) 対象競走: 阪神10R／中山10R／福島11R／阪神11R／中山11R



通過タイム: 600m 800m 1000m
上り: 800m 600m
34.5 - 47.0 - 59.3 46.3 - 34.8

アラカルト

- J.モレイラ騎手は皐月賞初勝利。JRA重賞は本年4勝目、通算17勝目
- 高柳大輔調教師は皐月賞初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算7勝目
- リオンディーズ産駒はJRA重賞通算8勝目
- 1月生まれの馬の勝利は初(グレード制を導入した84年以降)
- 非抽選馬 2頭(アスクシュタイン、マテンロウバローズ)
- ミュージアムマイル、クロワデュノール、マスカレードボール、ジョバンニ、サトノシャイニングは日本ダービー(GI)に優先出走できる

ミュージアムマイル *Museum Mile*

牡 黒鹿毛 2022.1.10生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・高柳大輔厩舎
馬名意味・ニューヨーク、マンハッタンの5番街にある通り

		ハッピートレインズIRE F4-d
リオンディーズ 黒鹿毛 2013	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo
		マンファスIRE
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウイーク
		キロブリミエールGB
ミュージアムビル 鹿毛 2015	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA
		アイリッシュダンス
	ロレットチャペル 鹿毛 2003	フレンチデビュティUSA
		サンタフェトレイル

5代までのインブリード: サンデーサイレンスUSA M3×S4
Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

高見優也 殿金長(ノーガンファー／空港)

いいレースができると期待していました

育成時はスタッフ誰もが跨ったことがあるぐらい癖のない馬でした。調教でも我慢のきいた走りをしていましたが、2戦目以降のレースを見て、距離は長くてもいいタイプだと思えるようになりました。皐月賞はいい枠に入ったと思ったうえにパドックでも落ち着いていたので、いいレースができると期待していました。次走のダービーでも距離に不安はありません。

父リオンディーズ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦2勝(朝日杯フューチュリティS G1、弥生賞GII2着)。最優秀2歳牡馬。17年から供用。

〔代表産駒〕**ミュージアムマイル**(本馬)、**テーオーロイヤル**(天皇賞(春)^{G1}、阪神大賞典^{G1}、ダイヤモンドS^{G3}2回)、**リブレーザ**(兵庫チャンピオンシップ^{Jpn1}II)、**インダストリア**(ダービー卿チャレンジトロフィー^{G3})、**アナザーリリック**(福島牝馬S^{G3})、**ジャステインロック**(京都2歳S^{G3})、**サンライズホーク**(かきつばた記念^{Jpn3}、サマーチャンピオン^{Jpn3}、兵庫ゴールドトロフィー^{Jpn3})、**ロジリオン**(クロッカスS・L、洛陽S・L、京王杯2歳S^{G1}2着、NHKマイルC^{G1}3着)、**ディオ**(東風S・L、関屋記念^{G3}2着)、**オタルエバー**(ラピスラズリS・L、ファルコンS^{G3}3着、新潟2歳S^{G3}3着)

母ミュージアムビル

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央22戦3勝(江の島特別、フローラルウォーク賞、スイートピーS♀2着)

ミュージアムマイル 本馬(22 牝父リオンディーズ)中央6戦3勝(皐月賞G1、
黄菊賞、朝日杯フューチュリティS G1 2着) 獲得総賞金282,579,000円
フェスティバルヒル(23 牝父サートゥルナーリア)廻

(24 牡父ロードカナロア)

祖母ロレットチャペル

北海道早来町 ノーサンファーム生産 中央0勝。17年死亡
チャーチクリーガ(09 牝父ネオユニヴァース)中央4勝(日野特別、春菜賞)、
ペッレグリーニ(現セントポーリア賞)の母
カレンバッドボイ(10 牝父ディープインパクト)中央3勝(脊振山特別、渥美特別)、障害1勝
アーリー(12 鹿父コノコノブーフ)中山5勝(御堂筋S、芦花賞特別)江坂

「ルナ（12 月又不才エニ・）」 | 特別)

ミュージアムヒル(15 前出) 曾祖母サンタフェトレイル

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央5勝(福島テレビ杯、長万部特別
吉潮賞)、05年死亡
キングストレイル(02 牡父サンデーサイレンスUSA)中央4勝(セントライト

2歳時にクロワフェュノールの軍門に下った馬たちが主要なステップレースを次々に勝利し、春が近づくにつれてますます「強」の様相が強まつた今年の牡馬クラシックロード。しかし一冠目の皐月賞にはそんな下馬評を覆す結果が待ち受けていた。ホープフルSから直行し、単勝1・5倍と圧倒的な支持を集めた無傷の2歳王者の前に立ちはだかつたのは、3番人気のミュー・ジアムマイル。春本番を迎えて覚醒したリオングレイズ産駒が鋭い決め手を冴え渡らせ、鮮やかな戴冠劇を演じた

スプリングSは好位抜け出しの戦法で制したビゴチャンブランクが、この日は意欲的に先手を奪取。思惑通りに

主導権を握り、少しベースを落としにかかるつたが、向正面に入ると弥生賞アーベインパクト記念の覇者ファウストラーゼンが早くも動き、最後方から先頭へ並びかける。4番手の外を確保したクロワデュノールはこのとき、あわせて仕掛けた他馬に内へ押し込められ、ブレーキを踏む格好となつた。

中団につけたミュージアムマイルとJ・モレイラ騎手のコンビも、馬群がゴチャついた向正面で内外の馬と接触それでも馬の気持ちは切れず、2番人気に支持されたぎざらぎざ賞の勝ち馬サトノシャイニングとともに、4コーナーから前に迫っていく。一方、態勢を立て直されたクロワデュノールも駆な

朝日杯フューチュリティSで2着に追い込み、高い素質の一端を示した本馬だが、1番人気の支持を集めた弥生賞ディープインパクト記念では、少し波つた馬場(稍重)も影響したのか最後のひと押しを欠いて伸び切れず、4着に終わった。とはいっても始動戦をひと叩きされ、良馬場に舞台が替わった本番でガラリと変身。初めて対戦したクロフデュノールに強烈な一本太刀を浴びせ、ダービー戦線の最前線に躍り出た。